上信越高原国立公園
(苗場地域)

公園計画書

令和6年8月8日

環境省

目 次

1	基本方針	1
2	規制計画	3
(1)	保護規制計画等	3
ア	特別地域	3
(ア)	特別保護地区	4
(イ)	第1種特別地域	6
(ウ)	第2種特別地域	11
(エ)	第3種特別地域	15
イ	関連事項	17
(ア)	採取等規制植物	17
(イ)	普通地域	26
ウ	面積内訳	27
3	事業計画	29
(1)	施設計画	29
ア	利用施設計画	29
(ア)	単独施設	29
(イ)	道路	31
a	車道	31
b	歩道	32
(ウ)	運輸施設	34
4	参考事項	35
(1)	過去の経緯	35
(2)	供覧用総括図（冊子綴じ込み版）	36

1 基本方針

上信越高原国立公園は、浅間山、四阿山、白根山、志賀山等の火山群やそれらの山麓の火山性高原、谷川連峰等の構造山地に、巨大な溶岩台地である苗場山の地域等を合わせ、我が国を代表する山岳及び高原景観地である。

苗場地域は新潟県と長野県の県境部に位置し、東側に新潟県、西側に長野県を区域とし、溶岩台地で形成された特異な山容を擁する苗場山及びアルプ斯的景観を有する谷川岳を中心とし、清津川が開析した溪谷等を含む地域である。本地域は、これらの異なるタイプの地形・地質要素が集まることで広大な山岳景観が作り出されており、苗場山山頂部の溶岩台地上に成立する広大な高層湿原と池塘、苗場山から佐武流山周辺にかけての手つかずの広大なブナ、オオシラビソの原生林と相まって、一体的な傑出した景観を作り出している。

本地域が有する風致景観の現況を踏まえながら、その保全と適切な利用の推進を図るため、以下の方針により公園計画を定めるものとする。

(1) 規制計画

ア 特別地域

(ア) 特別保護地区

苗場山の溶岩台地上には広大な高層湿原と池塘が多数点在し、類い稀な山岳景観を形成しているとともに、周囲にはオオシラビソを中心とした原生的な亜高山針葉樹林が分布する。また、谷川連峰は急峻な岩壁と露岩地が発達し、アルプ斯的で傑出した山岳景観を呈している。さらに、谷川岳周辺では希少性の高い蛇紋岩植生の高山植物等が見られる。これらは本地域の核心部分に当たることから、特に厳重に景観の保護を図るために特別保護地区とする。

(イ) 第1種特別地域

苗場山及び谷川連峰の特別保護地区の周囲には、佐武流山、武能岳等の山々が分布し、ブナ帯からダケカンバ群落等の亜高山帯まで原生的な状態を保持する多様な植生が成立する。清津峡をはじめとした溪谷も多く、合わせて良好な風致を保持している。これらの地区は特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、現在の風致を極力保護することが必要な第1種特別地域とする。

(ウ) 第2種特別地域

ブナの天然林などの良好な風致を示す地域及び利用上重要な土地とその周辺地で、現在の風致を保護する必要がある地域を第2種特別地域とする。

(エ) 第3種特別地域

上記の地域と一体となって風致を形成している地域、人工林や二次林を主体とした地域について、風致に重大な影響を及ぼさない範囲でこれらの土地利用と調整しつつ、風致の維持を図る必要のある地域を第3種特別地域とする。

(2) 事業計画

ア 施設計画

(ア) 利用施設計画

a 単独施設

本地域の特色である溶岩台地で形成された特異な山容を擁する苗場山及びアルプスの景観を擁する谷川岳等の個性的な山岳景観や湿原・溪谷景観を探勝するため、山岳地域及び山麓・山間に位置する高原地域において、適切な利用の推進が図られるよう、施設を配置する。

計画にあたっては、公園利用上必要な施設について、事業実施の可能性や施設整備による風致景観への影響を考慮し、適切な種別の計画を位置づける。

b 道路（車道）

公園の利用地点を繋ぐ車道のうち、公園利用上必要な路線を位置づける。

c 道路（歩道）

山岳地域では、適正な利用を推進するため、各山岳の特性に応じた、登山道を計画する。また、山麓・山間に位置する溪谷においては、自然探勝路としての歩道を計画する。さらに、公園全域や公園区域外からの広域的な徒歩利用に対応するため、主要利用地点間を繋ぐ歩道を計画する。

d 運輸施設

スキー場等における夏季の自然探勝や展望利用を行うため、索道運送施設を計画する。

2 規制計画

(1) 保護規制計画等

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	十日町市内 国有林中越森林管理署 6林班、13林班及び14林班の全部並びに2林班から5林班まで、15林班、102林班及び103林班の各一部	1,822 〔国 1,822〕 公 0 私 0
	南魚沼市内 国有林中越森林管理署 144林班及び145林班の各一部	210 〔国 210〕 公 0 私 0
	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 27林班、41林班から61林班まで、63林班、64林班及び128林班の全部並びに16林班、20林班、21林班、25林班、26林班、28林班から30林班まで、32林班、40林班、62林班、65林班、76林班から82林班まで、85林班から87林班まで、90林班から92林班まで、95林班から99林班まで、101林班、120林班から124林班まで、127林班、129林班から132林班まで、136林班及び137林班の各一部	12,221 〔国 12,221〕 公 0 私 0
	中魚沼郡津南町内 国有林中越森林管理署 307林班の全部及び306林班の一部	608 〔国 608〕 公 0 私 0
長野県	下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 19林班から29林班までの全部並びに8林班から11林班まで及び13林班から18林班までの各一部	5,019 〔国 5,019〕 公 0 私 0
合 計		19,881

※合計が端数処理の関係で一致しない。

(ア) 特別保護地区

特別地域のうち、次の区域を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 128 林班の全部並びに 43 林班、45 林班、121 林班から 124 林班 まで、127 林班及び 130 林班の各一部	1,181 〔 国 1,181 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
長野県	下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 9 林班及び 10 林班の各一部	594 〔 国 594 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
合 計		1,775

(表 3 : 特別保護地区内訳表)

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
苗場山	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 43 林班及び 45 林班の 各一部 長野県 下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 9 林班及び 10 林班の各 一部	<p>苗場山山頂周辺の溶岩台地上には広大な高層湿原が広がり、池塘が点在する苗場地域を代表する特異的な景観を有している。苗場山から南北に延びる稜線上には佐武流山、白砂山、上ノ倉山等の標高 2,000m前後の山々が連なり、稜線上は多雪の影響により偽高山帯が成立し、希少な湿原植物や高山植物の生育地となっている。また、区域の多くは原始的なオオシラビソを中心とした亜高山帯針葉樹林が成立し、貴重な自然環境を保持している。</p> <p>これらのことより、特に嚴重に景観の維持を図るべき地区である。</p>	634 (国 634) (公 0) (私 0)
谷川連峰	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 128 林班の全部並びに 121 林班から 124 林班ま で、127 林班及び 130 林 班の各一部	<p>谷川岳を中心とし、西は平標山、北は七ツ小屋山へと延びる稜線上の区域である。谷川連峰の標高は 2,000m前後であるが、急峻な岩壁と露岩地の発達する山容は高山的で、アルプスを彷彿とさせる景観を呈している。区域内にはミヤマナラ群落やササ群落等の多雪の影響を強く受けた植生が広く分布し、谷川岳周辺では希少性の高い蛇紋岩植生の高山植物等が見られる。</p> <p>これらのことより、特に嚴重に景観の維持を図るべき地区である。</p>	1,141 (国 1,141) (公 0) (私 0)
合 計			1,775

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	十日町市内 国有林中越森林管理署 6林班の全部並びに2林班から5林班まで、15林班、102林班及び103林班の各一部	1,252 〔 国 1,252 〕 公 0 私 0
	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 49林班から53林班まで、57林班及び58林班の全部並びに54林班から56林班まで、77林班から82林班まで、85林班から87林班まで、90林班、131林班、132林班、136林班及び137林班の各一部	2,784 〔 国 2,784 〕 公 0 私 0
長野県	下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 20林班、23林班及び25林班の全部並びに9林班から11林班まで、13林班から15林班まで、21林班、22林班、24林班、26林班及び29林班の各一部	2,004 〔 国 2,004 〕 公 0 私 0
		6,040

(表 5 : 第 1 種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
清津峡右岸	新潟県 十日町市内 国有林中越森林管理署 102 林班及び 103 林班の各一部	<p>本公園の最北端であり清津川の右岸側に位置する。清津川の両岸にはひん岩の柱状節理が分布し、日本三大峡谷に数えられる傑出した景観を呈し、国の名勝・天然記念物にも指定されている。溪谷にはブナやミズナラなどから成る二次林や自然林が分布する。特に右岸は、利用拠点である左岸の歩道トンネルからの視対象となっている。</p> <p>良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第 1 種特別地域とする。</p>	<p style="text-align: right;">267</p> <p style="text-align: right;">〔 国 267 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>
霧ノ塔北	新潟県 十日町市内 国有林中越森林管理署 6 林班の全部並びに 2 林班から 5 林班まで及び 15 林班の各一部	<p>神楽ヶ峰の北に位置し、日蔭山へ至る尾根沿いには風衝草原が広がり、高石尾根の北西にはダケカンバなどの亜高山帯広葉樹林やオオシラビソなどの亜高山帯針葉樹林が分布する。また、新潟県指定の小松原自然環境保全地域に隣接するとともに、一部は特定植物群落「苗場山小松原のオオシラビソ林」に選定されている。</p> <p>良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第 1 種特別地域とする。</p>	<p style="text-align: right;">985</p> <p style="text-align: right;">〔 国 985 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
大岩山	長野県 下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 9 林班から 11 林班まで及び 13 林班から 15 林班までの各 一部	<p>大岩山は苗場山南西部に位置し、苗場山特別保護地区に隣接するとともに、特定植物群落「苗場山の自然植生」に選定されている地域である。大岩山北斜面には、原生的なオオシラビソ群落が広がっており、南斜面には月夜立岩や鉾岩といった奇岩のほか、ミズナラやコメツガなどから成る亜高山帯針広混交林が分布する。</p> <p>良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第1種特別地域とする。</p>	<p style="text-align: right;">408</p> <p style="text-align: right;">〔 国 408 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
佐武流山	<p>新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 49 林班から 53 林班まで、57 林班及び 58 林班の全部並びに 54 林班から 56 林班までの各一部</p> <p>長野県 下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 20 林班、23 林班及び 25 林班の全部並びに 21 林班、22 林班、24 林班、26 林班及び 29 林班の各一部</p>	<p>赤倉山から佐武流山、白砂山にかける稜線を中心にして位置し、稜線の西側は特定植物群落「苗場山の自然植生」に選定されている。稜線の西側にはシラビソトウヒ群落、東側には原生的なオオシラビソ群落などの亜高山帯自然植生が広がっている。</p> <p>良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第1種特別地域とする。</p>	<p style="text-align: right;">3,416</p> <p style="text-align: right;">〔 国 3,416 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>
武能岳	<p>新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 131 林班、132 林班、136 林班及び 137 林班の各一部</p>	<p>谷川連峰の主要山稜線の北東部に位置し、稜線部で非対称山稜が見られる。標高 1,760mの武能岳は険しく尖り、アルプスを彷彿とさせる山容であり、ササ自然草原や自然低木群落が広がる。</p> <p>良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第1種特別地域とする。</p>	<p style="text-align: right;">363</p> <p style="text-align: right;">〔 国 363 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
三国稜線西	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 77 林班から 82 林班まで、85 林班から 87 林班まで及び 90 林班の各一部	谷川連峰主要山稜線の西部に位置し、平標山から三国山、稲包山へ至る地域である。平標山から三国山までの稜線には風衝草原が広がり、三国山から三国峠にかけてゼンテイカ（ニッコウキスゲ）やシラネアオイなどの高山植物がお花畑を形成している。 良好な風致を保持しており、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高く、風致を極力保護することが必要な地域であることから、第1種特別地域とする。	602 〔 国 602 公 0 私 0 〕
合 計			6,040

※合計が端数処理の関係で一致しない。

(ウ) 第2種特別地域

次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	十日町市内 国有林中越森林管理署 13 林班及び 14 林班の全部	570 〔 国 570 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
	南魚沼市内 国有林中越森林管理署 144 林班及び 145 林班の各一部	210 〔 国 210 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 41 林班、42 林班、44 林班、46 林班から 48 林班まで、59 林班から 61 林班まで、63 林班及び 64 林班の全部並びに 16 林班、26 林班、28 林班から 30 林班まで、40 林班、43 林班、45 林班、54 林班から 56 林班まで、62 林班、65 林班、76 林班から 79 林班まで、101 林班、121 林班から 124 林班まで、127 林班、129 林班及び 130 林班の各一部	6,038 〔 国 6,038 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
	中魚沼郡津南町内 国有林中越森林管理署 307 林班の全部及び 306 林班の一部	608 〔 国 608 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
長野県	下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 19 林班、27 林班及び 28 林班の全部並びに 8 林班から 11 林班まで、16 林班から 18 林班まで、21 林班、22 林班、24 林班、26 林班及び 29 林班の各一部	2,421 〔 国 2,421 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
合 計		9,847

(表 7 : 第 2 種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
清津峡左岸	新潟県 十日町市内 国有林中越森林管理署 13 林班及び 14 林班の全部 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 16 林班及び 101 林班の各一部	<p>本公園の最北端であり清津川の左岸側に位置する。清津川の両岸にはひん岩の柱状節理が分布し、日本三大峡谷に数えられる傑出した景観を呈し、国の名勝・天然記念物にも指定されている。</p> <p>左岸側は主に岩場で風衝地低木群落が分布し、清津峡利用の拠点である清津峡溪谷トンネルが整備されている。</p> <p>利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域であることから、第 2 種特別地域とする。</p>	<p>783</p> <p>〔 国 783 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕</p>

<p>苗場山・佐武流山周辺</p>	<p>新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 41 林班、42 林班、44 林班、46 林班から 48 林班まで、59 林班から 61 林班まで、63 林班及び 64 林班の全部並びに 26 林班、28 林班から 30 林班まで、40 林班、43 林班、45 林班、54 林班から 56 林班まで、62 林班、65 林班及び 76 林班から 79 林班までの各一部</p> <p>中魚沼郡津南町内 国有林中越森林管理署 307 林班の全部及び 306 林班の一部</p> <p>長野県 下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 19 林班、27 林班及び 28 林班の全部並びに 8 林班から 11 林班まで、16 林班から 18 林班まで、21 林班、22 林班、24 林班、26 林班及び 29 林班の各一部</p>	<p>苗場山の北麓、東麓、赤湯温泉周辺、中津川や渋沢の右岸周辺、地蔵山から白砂山、上ノ倉山、稲包山にかけての稜線周辺などを含む範囲に位置する。</p> <p>神楽ヶ峰から苗場山山頂に至る登山道沿いにはゼンテイカ（ニッコウキスゲ）やハクサンフウロなどの高山植物から成るお花畑が見られ、苗場山から赤湯温泉にかけては原生的なオオシラビソ群落やブナ群落が広がり、白砂山から上ノ倉山にかけての稜線部にはササの自然草原が広がっている。また、地蔵山から白砂山、上ノ倉山、稲包山にかけての稜線には登山道が整備されている。</p> <p>利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域であることから、第 2 種特別地域とする。</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">7,791</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">国</td> <td style="text-align: right;">7,791</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">公</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">私</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> </table>		7,791	国	7,791	公	0	私	0
	7,791										
国	7,791										
公	0										
私	0										

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
谷川連峰西麓	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 121 林班から 124 林班まで、 127 林班、129 林班及び 130 林 班の各一部	谷川連峰の主要山稜線の北から西麓に位置し、ブナやミズナラなどから成る落葉広葉樹林が広がっている。湯沢町から平標山や万太郎山、茂倉岳へ至る登山利用など、利用者の適正利用を促す必要がある地域である。 利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域であることから、第2種特別地域とする。	1,064 〔 国 1,064 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
七ツ小屋山	新潟県 南魚沼市内 国有林中越森林管理署 144 林班及び 145 林班の各一 部	谷川連峰の主要山稜線の北東部に位置する、七ツ小屋山から東への稜線の北側である。稜線部にはササの自然草原が広がり、要所に雪田草原が見られる。馬蹄形縦走コースなどの登山利用が多く、利用者の適正利用を促す必要がある地域である。 利用上重要な土地及びその周辺地であり、現在の風致を保護する必要がある地域であることから、第2種特別地域とする。	210 〔 国 210 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
合 計			9,847

※合計が端数処理の関係で一致しない。

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 27林班の全部並びに16林班、20林班、21林班、25林班、26林班、32林班、87林班、90班から92林班まで、95林班から99林班まで及び120林班から124林班までの各一部	2,219 〔 国 2,219 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
	合 計	2,219

(表9：第3種特別地域内訳表)

名 称	区 域	地 区 の 概 要	面積 (ha)
かぐら	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 27 林班の全部並びに 16 林班、 20 林班、21 林班、25 林班、26 林班及び 32 林班の各一部	神楽ヶ峰の北東に位置し、ブナ、ミズナラなどから成る落葉広葉樹林が 広がり、苗場山へ至る登山やスキー場利用が多い地域である。 スキー場上部にはダケカンバなど亜高山帯広葉樹林が広がり、ワタスゲ など湿地性の植物も見られる。また、スキー場敷地内にはススキ群落がみ られ、良好な風致を構成している。 利用上重要な土地及びその周辺地で、風致に重大な影響を及ぼさない範 囲で風致の維持を図る必要があることから、第3種特別地域とする。	872 〔 国 872 〕 公 0 私 0
日白山	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 90 林班から 92 林班まで、95 林班 から 99 林班まで及び 120 林班か ら 124 林班までの各一部	仙ノ倉山の北部から日白山にかけて位置し、ミズナラやブナなどの落葉広 葉樹林が分布し、谷川連峰の主要山稜線からの視対象として良好な風致を構 成している。 利用上重要な土地及びその周辺地で、風致に重大な影響を及ぼさない範囲 で風致の維持を図る必要があることから、第3種特別地域とする。	1,312 〔 国 1,312 〕 公 0 私 0
松手山	新潟県 南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 87 林班及び 90 林班の各一部	谷川連峰主要山稜線の西部に位置し、平標山へ至る登山利用が多い地域 である。稜線沿いにはシャクナゲやナナカマドなどの低木林とササの自然 草原が広がり、シラネアオイやハクサンイチゲ等多くの高山植物が見ら れ、良好な風致を構成している。 利用上重要な土地及びその周辺地で、風致に重大な影響を及ぼさない範囲 で風致の維持を図る必要があることから、第3種特別地域とする。	35 〔 国 35 〕 公 0 私 0
合 計			2,219

イ 関連事項

(ア) 採取等規制植物

採取又は損傷を規制する植物を次のとおりとする。

(表 10：採取等規制植物表)

科 名	種 名
カワモズク	アオカワモズク、ホソカワモズク
ヒカリゴケ	ヒカリゴケ
ミズゴケ	ミズゴケ属
ヒカゲノカズラ	ヒメスギラン、コスギラン (エゾノコスギラン、チシマスギラン)、ヤチスギラン、タカネヒカゲノカズラ、マンネンスギ (ウチワマンネンスギ、タチマンネンスギ)、スギラン
ミズニラ	ヒメミズニラ (エゾミズニラ)
イワヒバ	エゾノヒメクラマゴケ (エゾヒメクラマゴケを含む。)(ミヤマヒメタチクラマゴケ、エゾクラマゴケ)、コケスギラン、ヒモカズラ (ヒメヒカゲノカズラを含む。)、ヤマクラマゴケ、イワヒバ (イワマツ)
ハナヤスリ	ヒメハナワラビ (アキノハナワラビ、ヘビノシダ)、エゾフユノハナワラビ (アズサハナワラビ及びヤマハナワラビを含む。)、ウスイハナワラビ
コケシノブ	ヒメコケシノブ、コケシノブ、ヒメハイホラゴケ (ヒメホラゴケ)
イノモトソウ	ミヤマウラジロ (アオミヤマウラジロ、アオジクミヤマウラジロ)
ナヨシダ	ウスヒメワラビモドキ (ミヤマウスヒメワラビ)、ナヨシダ、ウサギシダ (アオキガハラウサギシダ)、エビラシダ、イワウサギシダ
チャセンシダ	ヒメイワトラノオ、クモノスシダ (ヤマドリトラノオを含む。)(ツノダシクモノスシダ)、イチョウシダ、コタニワタリ (ハガワリコタニワタリ)、イワトラノオ、アオチャセンシダ
イワデンダ	トガクシデンダ (カラフトイワデンダ、ケンザンデンダ)、コガネシダ (ジョウシュウコガネシダ)
シシガシラ	ミヤマシシガシラ (アオジクミヤマシシガシラ)
メシダ	テバコワラビ、イワイヌワラビ、タカネサトメシダ、ミヤマヘビノネゴザ、キタノミヤマシダ
ヒメシダ	ニッコウシダ、オオバショリマ (ヤクシマショリマ)

オシダ	ニオイシダ、ナンタイシダ (ヤマシノブ)、アヅミイノデ (アズミイノデ、カラクサイノデ)、カラクサイノデ (シノブイノデ、キタノカラクサイノデ)
シノブ	シノブ (タイワンシノブ)
ウラボシ	ナガオノキシノブ (ホソバノキシノブ)、ホテイシダ、ミヤマノキシノブ、ヒメサジラン、カラクサシダ、オシヤグジデンダ (オシヤクジデンダを含む。)(オシヤゴジデンダ)、ビロードシダ (ビロウドシダ、タイワンビロードシダ)、ミヤマウラボシ
マツ	ハイマツ
ヒノキ	ミヤマビャクシン (ミヤマハイビャクシンを含む。)(シンパク)、ホンドミヤマネズ (ミヤマネズを含む。)
イチイ	キャラボク
スイレン	ヒツジグサ (エゾノヒツジグサ、エゾヒツジグサ)
マツブサ	チョウセンゴミシ (チョウセンゴミンを含む。)
ウマノスズクサ	ミヤマアオイ、コシノカンアオイ、ミクニサイシン、ウスバサイシン (サイシン、カワリウスバサイシン)、トウゴクサイシン
モクレン	オオヤマレンゲ
サトイモ	ヤマトテンナンショウ (カルイザワテンナンショウ)、ヒロハテンナンショウ、ミクニテンナンショウ、ヒメカイウ (ミズザゼン、ミズイモ)、ヒンジモ、ミズバショウ、ナベクラザゼンソウ、ヒメザゼンソウ、ザゼンソウ (ダルマソウを含む。)
チシマゼキショウ	チシマゼキショウ (チャボゼキショウ、ハコネハナゼキショウ及びアポイゼキショウを含む。)(クロミノイワゼキショウ、クロミゼキショウ、リシリゼキショウ)、ハナゼキショウ (イワゼキショウ)、イワショウブ (ムシトリゼキショウを含む。)
ホロムイソウ	ホロムイソウ (ホリソウ)
ヒルムシロ	ホソバヒルムシロ、イトモ
サクライソウ	オゼソウ (テシオソウ)
キンコウカ	ネバリノギラン、キンコウカ
シュロソウ	ショウジョウバカマ、キヌガサソウ、クルマバツクパネソウ、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ (シロバナエンレイソウ)、シュロソウ (オオシュロソウ)、タカネアオヤギソウ (ムラサキタカネアオヤギソウ及びタカネシュロソウを含む。)(クモイアオヤギソウ)、アオヤギソウ (ホソバアオヤギソウ)、コバイケイソウ (ウラゲコバイケイを含む。)(コバイケイ)
ユリ	ツバメオモト、カタクリ (カタカゴ)、クロユリ (ミヤマクロユリを含む。)(エゾクロユリ)、ヒメアマナ、キバナノアマナ (キバナアマ

	ナ)、ヤマユリ、コオニユリ (ホソバコオニユリを含む。)、クルマユリ (チシマクルマユリ、ホソバクルマユリ、タガイハクルマユリ)、チシマアマナ (チシマソウ)、ホソバノアマナ (ホソバアマナ)、オオバタケシマラン、タマガワホトトギス (ハゴロモホトトギスを含む。)(ニッコウホトトギス)
ラン	コアニチドリ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネ、サルメンエビネ (ヒダブチエビネ)、ギンラン (ハクサンランを含む。)、キンラン、ササバギンラン、オノエラン、サイハイラン、シュンラン (ホクロ、シナシュンラン、タイワンシュンラン)、キバナノアツモリソウ、ツチアケビ、ハクサンチドリ (ウズラバハクサンチドリ及びシロバナハクサンチドリを含む。)、アオチドリ (ネムロチドリ、タカネアオチドリ、チシマアオチドリ)、イチヨウラン (ヒトハランを含む。)(ヒメヒトハラン)、サワラン (アサヒラン)、コイチヨウラン、エゾスズラン (アオスズラン)、カキラン (スズラン)、カモメラン (カモメソウ、イチヨウチドリ)、オノヤガラ (アオテンマを含む。)(ヌスビトノアシ)、シロテンマ、アケボノシュスラン、ヒメミヤマウズラ、ミヤマウズラ、テガタチドリ (チドリソウ)、オオミズトンボ (サワトンボ)、ミズトンボ (アオトンボを含む。)、オオハクウンラン (ムライラン、イセラン)、ハクウンラン (ムライラン、イセラン)、セイタカスズムシソウ (セイタカスズムシ)、ジガバチソウ、クモキリソウ、スズムシソウ (スズムシラン)、シテンクモキリ、ホザキイチヨウラン (ホザキフタバラン)、アリドオシラン、ノビネチドリ、コフタバラン (フタバラン)、カイスカネラン、ミヤマフタバラン、サカネラン、ミヤマモジズリ、コケイラン (ヒメケイラン、ヒメコケイラン)、ジンバイソウ、ミズチドリ (ジャコウチドリ)、ツレサギソウ、ヤマサギソウ (マイサギソウ、ハシナガヤマサギソウ及びオオバナヤマサギソウを含む。)、タカネサギソウ、キソチドリ (ナガバノキソチドリ、ヒトツバキソチドリ、オオキソチドリ及びミチノクチドリを含む。)、オオヤマサギソウ (キラيشュチドリ)、ミヤマチドリ (ニッコウチドリ)、ガッサンチドリ、コバノトンボソウ、ホソバノキソチドリ (ツブラトンボソウ)、トンボソウ (コトンボソウ)、トキソウ、ヤマトキソウ、ミヤマトキソウ、ウチヨウラン、ニョホウチドリ、ヒトツボクロ、シナノショウキラン、ショウキラン
アヤメ	ノハナショウブ、ヒメシャガ、ヒオウギアヤメ、シガアヤメ (ホソバシガアヤメ)
ワスレグサ	ユウスゲ (キスゲ、アサマキスゲ)、ゼンテイカ (アサマカンゾウを含む。)(ニッコウキスゲ、エゾゼンテイカ、センダイカンゾウ)、ノカンゾウ (ベニカンゾウを含む。)
ヒガンバナ	シロウマアサツキ (シブツアサツキを含む。)(シベリアラッキョウ)、ミヤマラッキョウ、ギョウジャニンニク (ギョウジャニンニク、アイヌネギ)
クサスギカズラ	スズラン (キミカゲソウ)、イワギボウシ、トウギボウシ (オオバギボウシ、ハヤザキオオバギボウシ、ウノハナギボウシ、ウツリギボウシ、アツバギボウシ)、コバギボウシ (フジギボウシ、イブキギボウシ)、ハルナユキザサ、ヤマトユキザサ (ミドリユキザサ、オオバ

	ユキザサ)、ヒロハユキザサ (ヒロハノユキザサ、ミドリユキザサ)、ヒメイズイ (ヒメアマドコロ)、ワニグチソウ
ガマ	ホソバタマミクリ、タマミクリ (コミクリを含む。)、ヒメミクリ
ホシクサ	クロイヌノヒゲ (ヤクシマホシクサ)、ノソリホシクサ、ニッポンイヌノヒゲ (ケイヌノヒゲ、ホシザキイヌノヒゲ、シモキタイヌノヒゲ、ヒメイヌノヒゲ)
イグサ	ミヤマイ (タテヤマイ)、ホソコウガイゼキシヨウ、エゾホソイ (カラフトホソイ、コウライイ、リシリイ)、ミヤマホソコウガイゼキシヨウ、イトイ、ミヤマズメノヒエ、タカネスズメノヒエ (タカネスズメノヤリを含む。)、オカズメノヒエ (オカズメノヤリを含む。)(ヤクシマズメノヒエ)
カヤツリグサ	タテヤマスゲ、ヒラギシスゲ (エゾアゼスゲ)、ヒメカワズスゲ、ハクサンスゲ、ナルコスゲ、ミタケスゲ、ウスイロオクノカンスゲ、タニガワスゲ、ニッコウハリスゲ (ヒメタマスゲ)、イトキンスゲ、コハリスゲ (コケスゲ、オオミノコハリスゲ)、ヤマアゼスゲ (ヒロハノタニガワスゲ、ヒメテキリスゲ)、クジュウツリスゲ (リクチュウツリスゲ、カルイザワツリスゲ、ホソバハネスゲ)、ハタバスゲ、ヤチスゲ (カラフトヤチスゲ)、トマリスゲ (ホロムイスゲ、クロスゲ)、オタルスゲ (ヒメテキリスゲ)、ナガエスゲ、ヒメスゲ、タカネハリスゲ (ミガエリスゲ)、ダケスゲ、クグスゲ (ジョウロウスゲモドキ)、キンスゲ (セイタカキンスゲ)、シラコスゲ (ホソシラコスゲ)、オオカサスゲ、ツルカミカワスゲ、サドスゲ、ユキグニハリスゲ、イワスゲ、クモマシバスゲ、エゾハリスゲ (オオハリスゲ)、ナガボノコジュズスゲ (アオジュズスゲ)、サギスゲ、ワタスゲ (ズメノケヤリ)、ミカツキグサ、ミヤマイヌノハナヒゲ、ミヤマホタルイ、シズイ (テガヌマイ)、コマツカサススキ (タマススキ)、タカネクロスゲ (ミヤマワタスゲ)、ミネハリイ
イネ	ミヤマヌカボ (ヒメコメススキ)、コミヤマヌカボ、カニツリノガリヤス、オノノガリヤス (イワキノガリヤス)、オオヒゲガリヤス、ヒゲノガリヤス、ヒナガリヤス (ヒナノガリヤス)、イワノガリヤス (ネムログヤ、アオイワノガリヤス)、ミヤマノガリヤス、フサガヤ、イヌカモジグサ、エゾカモジグサ、エゾムギ、ミヤマウシノケグサ、タカネウシノケグサ、ミヤマドジョウツナギ、ミノボロ、タカネタチイチゴツナギ、ヒロハノハネガヤ、リシリカニツリ (タカネカニツリ)
ケシ	エゾエンゴサク (ホソバエンゴサク)、ツルキケマン (ツルケマン)、コマクサ、ヤマブキシソウ (タイリクヤマブキシソウ)、オサバグサ
メギ	ヒロハへビノボラズ (ヒロハノへビノボラズ、オオバノへビノボラズ、タイリクへビノボラズ)、メギ (コトリトマラズ)、サンカヨウ (マルバサンカヨウ及びカヨウソウを含む。)(キレハサンカヨウ)、イカリソウ、クモイイカリソウ、キバナイカリソウ (チョウセンイカリソウ、ニッコウイカリソウ)、トキワイカリソウ (ウラジロイカリソウを含む。)、トガクシソウ (トガクシショウマ)
キンポウゲ	オオレイジンソウ、センウズモドキ (センウズモドキ)、ヤマトリカブト (ハコネトリカブト)、ミョウコウトリカブト、アズマレイジン

	ソウ (アズマトリカブト、シナノレイジンソウ、ウスゲレイジンソウ)、サンヨウブシ (ジョウシュウトリカブト)、ヤチトリカブト、ホソバトリカブト、ハクバブシ、フクジュソウ (エダウチフクジュソウ)、ヒメイチゲ、ハクサンイチゲ (ミドリハクサンイチゲを含む。)、イチリンソウ (イチゲソウ)、キクザキイチゲ (キクザキイチリンソウ、ハナガサイチゲ、ヤエノキクザキイチゲ、ピップイチゲ、クルマザキキクザキイチゲ)、アズマイチゲ (シラゲウラベニイチゲ、オクノアズマイチゲ)、サンリンソウ、レンゲショウマ、ヤマオダマキ、オオヤマオダマキ (エゾヤマオダマキ、エゾノヤマオダマキ)、ミヤマオダマキ (ヒメオダマキ)、リュウキンカ (エンコウソウ及びコバノリュウキンカを含む。)、ミヤマハンショウヅル (コミヤマハンショウヅルを含む。)、トリガタハンショウヅル (アズマハンショウヅル、シロハンショウヅル)、オウレン (キクバオウレン及びセリバオウレンを含む。)、バイカオウレン (ゴカヨウオウレン)、ミツバオウレン (カタバミオウレン)、ミツバノバイカオウレン (コシジオウレン)、アズマシロカネソウ、トウゴクサバノオ (オオヤマシロカネソウ)、シラネアオイ、ミスミソウ (スハマソウ及びオオミスミソウを含む。)(ユキワリソウ)、オキナグサ、ミヤマキンポウゲ (ヤエミヤマキンポウゲを含む。)(ケナシミヤマキンポウゲ、コリンキンポウゲ)、オオイチョウバイカモ、バイカモ (ウメバチモ、エチゴバイカモ)、ヒメカラマツ、カラマツソウ、マンセンカラマツ、オオカラマツ (コカラマツ、ウスバカラマツ)、ヒメミヤマカラマツ、シキンカラマツ (オオシキンカラマツ)、ミヤマカラマツ (ケミヤマカラマツ)、モミジカラマツ、キンバイソウ (キリガミネキンバイソウ)、シナノキンバイ (シナノキンバイソウ)
ボタン	ヤマシャクヤク (ノシャクヤク)、ベニバナヤマシャクヤク
スグリ	ヤシャビシャク、スグリ
ユキノシタ	ハナチダケサシ (ミヤマチダケサシ)、チダケサシ、アラシグサ、ハナネコノメ、ニッコウネコノメ (ニッコウネコノメソウ)、コシノチャルメルソウ、ダイヤモンドソウ (ウチワダイヤモンドソウ及びウラベニダイヤモンドソウを含む。)(ミヤマダイヤモンドソウ、トウホクダイヤモンドソウ、タケシマダイヤモンドソウ)、クロクモソウ (キクブキ、イワブキ)、フキユキノシタ
ベンケイソウ	チチツパベンケイ (チチツパベンケイソウ)、ツメレンゲ (ヒロハツメレンゲ、ヒロハイワレンゲ)、ホソバノキリンソウ (ナガバノキリンソウ、ミヤマキリンソウ)、イワベンケイ (イワキリンソウ、ナガバノイワベンケイ、イワベンケイソウ)、ミヤママンネングサ (ベニツヅキ)、ヒメレンゲ (コマンネンソウ)
マメ	ムラサキモメンヅル (マンシュウモメンヅル)、モメンヅル、タヌキマメ、イワオウギ (イワオオギを含む。)(タテヤマオウギ)、ニワフジ (イワフジ)、マルバハギ (ミヤマハギ)、シャジクソウ、ノハラクサフジ (コノハラクサフジ)
バラ	コシジシモツケソウ、シモツケソウ (アカバナシモツケソウを含む。)、ノウゴウイチゴ (ノウゴイチゴ)、シロバナノヘビイチゴ (モリ

	イチゴ)、ミヤマダイコンソウ、コキンバイ (エゾキンバイ)、イワキンバイ (アツバイワキンバイ)、キンロバイ、ミヤマキンバイ、タカネザクラ (チシマザクラを含む。)(ミネザクラ)、オオタカネバラ (オオタカネイバラ)、カラフトイバラ、タカネバラ (タカネイバラ)、クロイチゴ、コガネイチゴ、サナギイチゴ、ベニバナイチゴ、タカネトウウチソウ (ケトウウチソウを含む。)、ミヤマワレモコウ (ウスイロワレモコウ、ウスジロワレモコウ、ホナガワレモコウ、タイワンワレモコウ、メワレモコウ)、ワレモコウ (エゾワレモコウ)、チングルマ (イワグルマ、チョウカイチングルマ)、マルバイワシモツケ、イワシモツケ
クロウメモドキ	ホナガクマヤナギ、ミヤマクマヤナギ
イラクサ	ホソバイラクサ、エゾイラクサ
ニシキギ	オオツルウメモドキ (シタキツルウメモドキ)、ヒロハツリバナ (ヒロハノツリバナ)、ヒメウメバチソウ (タカネウメバチソウ)、シラヒゲソウ、オオシラヒゲソウ、ウメバチソウ (コウメバチソウを含む。)(エゾウメバチソウ)
カタバミ	オオヤマカタバミ (オオミヤマカタバミ)
スマレ	キバナノコマノツメ (ジョウエツキバナノコマノツメを含む。)(ケタカネスマレ)、ウスバスマレ、ヒメミヤマスマレ、オオバキスマレ (ミヤマキスマレを含む。)、ナエバキスマレ、ヒゴスマレ、ツルタチツボスマレ、チシマウスバスマレ (ケウスバスマレ)、オオバタチツボスマレ、イブキスマレ、アケボノスマレ、ミヤマスマレ、ゲンジスマレ (イヨスマレ)、ミヤマツボスマレ、ヒメスマレサイシン
アマ	マツバニンジン (マツバナデシコ)
オトギリソウ	オクヤマオトギリ (イワテオトギリ、ニッコウヤマオトギリ、シナノヤマオトギリ、マルバオトギリ)、ニッコウオトギリ (アカテンオトギリ)、イワオトギリ (ハイオトギリを含む。)、シナノオトギリ (ミヤマオトギリ、ウツクシオトギリ)
フウロソウ	ゲンナイフウロ (タカネゲンナイフウロを含む。)(イブキゲンナイフウロ)、アサマフウロ、コフウロ、イブキフウロ (ヒダフウロ)、ハクサンフウロ (シロバナハクサンフウロを含む。)(アカヌマフウロ、シロウマフウロ)
アカバナ	ヤナギラン (ウスゲヤナギラン及びケナシヤナギランを含む。)、ケゴンアカバナ (タカネアカバナ、アムールアカバナ、ミヤマイワアカバナ、ヒメイワアカバナ、ニイタカアカバナ)、ヒメアカバナ、ミヤマアカバナ (コアカバナ、リシリアカバナ)
アブラナ	ミヤマハタザオ、イワハタザオ (ニッコウハタザオ及びウメハタザオを含む。)、ヤマガラシ (マルバヤマガラシ、ミヤマガラシ、イブキガラシ、シベリアヤマガラシ、エゾヤマガラシ)、コンロンソウ、オオユリワサビ、ユリワサビ
ツチトリモチ	ミヤマツチトリモチ (キュウシュウツチトリモチ)
オオバヤドリギ	ホザキヤドリギ (ホザキノヤドリギ)

タデ	オンタデ (イワタデ)、ウラジロタデ (ウラジロイタドリ、タカネウラジロイタドリ)、イブキトラノオ (ホソバイブキトラノオ、イワイブキトラノオ)、ハルトトラノオ、ムカゴトラノオ (コモチトラノオを含む。)、タカネスイバ、ノダイオウ
モウセンゴケ	モウセンゴケ
ナデシコ	カトウハコベ、タガソデソウ (ヒメタガソデソウ)、ミヤマミミナグサ、カワラナデシコ (ナデシコ)、タカネナデシコ (クモイナデシコを含む。)、エゾカワラナデシコ、ホソバツメクサ (コバノツメクサ)、ワダソウ (ヒメワダソウ)、ヒゲネワチガイソウ (ヒゲネワチガイ)、センジュガンピ、ビランジ、フシグロセンノウ、シラオイハコベ (エゾフスマ)、ミヤマハコベ
ミズキ	ゴゼンタチバナ
サクラソウ	ツマトリソウ (コツマトリソウを含む。)(オオツマトリソウ)、ハクサンコザクラ (ナンキンコザクラ)、クリンソウ、オオサクラソウ (ミヤマサクラソウ)、ユキワリソウ (オオユキワリソウ)、サクラソウ
イワウメ	イワウメ、ヒメイワカガミ、イワカガミ (コイワカガミ及びオオイワカガミを含む。)、イワウチワ (トクワカソウ及びオオイワウチワを含む。)
ツツジ	ヒメシャクナゲ (ニッコウシャクナゲ、カラフトヒメシャクナゲ)、コメバツガザクラ (ハマザクラ)、イワヒゲ (イワナガヒゲ)、ミヤマホツツジ (ホナガミヤマホツツジ)、ガンコウラン、サラサドウダン (フウリンツツジ)、ベニサラサドウダン、イワナシ、ハナヒリノキ (オオハナヒリノキ、ホソバノハナヒリノキ)、ウラジロハナヒリノキ (コシノハナヒリノキ)、ヒメハナヒリノキ、ウスユキハナヒリノキ、アカモノ (シロイワハゼを含む。)(イワハゼ)、ハリガネカズラ、シラタマノキ (シロモノ)、ミネズオウ、シャクジョウソウ (シャクジョウバナ)、ギンリョウソウモドキ (アキノギンリョウソウ、ユウレイタケモドキ、ユウレイソウモドキ)、ギンリョウソウ (マルミノギンリョウソウ、コギンリョウソウ)、コイチャクソウ、アオノツガザクラ、ツガザクラ、コバノイチャクソウ、ベニバナイチャクソウ (ベニイチャクソウを含む。)、マルバノイチャクソウ (マルバイチャクソウ、オオジンヨウイチャクソウを含む。)、ジンヨウイチャクソウ、ムラサキヤシオツツジ (ムラサキヤシオを含む。)(ミヤマツツジ)、ハクサンシャクナゲ (ネモトシャクナゲ及びケナシハクサンシャクナゲを含む。)(シロバナシャクナゲ、ウラゲハクサンシャクナゲ)、アズマシャクナゲ (シャクナゲ)、ヒカゲツツジ (サワテラシ、ヤクシマヒカゲツツジ)、レンゲツツジ (キレンゲツツジを含む。)、ウラジロヨウラク (ガクウラジロヨウラクを含む。)、オオバツツジ、シロヤシオ (ゴヨウツツジ)、オオコメツツジ、コメツツジ (チョウジコメツツジを含む。)、トウゴクミツバツツジ、ツルコケモモ、マルバウスゴ (オニウスゴを含む。)(シコクウスゴ、ナンブクロウスゴ)、クロマメノキ、コケモモ (ヒロハコケモモ、オオバコケモモ)

アカネ	オオバノヨツバムグラ、エゾノヨツバムグラ、ヤツガタケムグラ、キバナカワラマツバ (キバナノカワラマツバ、ウスイロカワラマツバ、オオキバナノカワラマツバ)
リンドウ	オヤマリンドウ、リンドウ (ツクシリンドウ、ササリンドウ)、タテヤマリンドウ (シロバナタテヤマリンドウを含む。)(コミヤマリンドウ)、ハルリンドウ、エゾリンドウ (ホロムイリンドウ及びエゾオヤマリンドウを含む。)、オノエリンドウ (オクヤマリンドウ)、ハナイカリ、ホソバツルリンドウ (ホソバノツルリンドウ)、ムラサキセンブリ、テングノコヅチ
キョウチクトウ	クサタチバナ、フナバラソウ (ロクエンソウ)、ツルガシワ (オオツルガシワ)、タチガシワ、スズサイコ
ムラサキ	ミヤマムラサキ、ムラサキ、ルリソウ、ミズタビラコ、コシジタビラコ、タチカメバソウ、ツルカメバソウ
イワタバコ	イワタバコ
オオバコ	ハクサンオオバコ (ケナシハクサンオオバコを含む。)、クワガタソウ、ヒメクワガタ、ゲンバイヅル (マルバクワガタ)、ヒメトラノオ、ミヤマクワガタ (ミヤマトラノオ、バンダイクワガタ)、テングクワガタ (ハイクワガタ)、クガイソウ
シソ	カイジンドウ、ツルカコソウ (ケブカツルカコソウを含む。)(シコタンツルカコソウ)、ミヤマクマバナ、ムシヤリンドウ (マンシュウムシヤリンドウ)、キセワタ、ヤマジソ、ミソガワソウ (エゾミソガワソウ)、タテヤマウツボグサ、イブキジャコウソウ (イワジャコウソウ、ナンマンジャコウソウ)、カリガネソウ (ホカケソウ)
ハエドクソウ	オオバミゾホオズキ
ハマウツボ	オニク (キムラタケ)、ミヤマコゴメグサ、ホソバコゴメグサ、トガクシコゴメグサ、ヤマウツボ (ケヤマウツボを含む。)(ゲンジウツボ)、ミヤマシオガマ、ヨツバシオガマ、オニシオガマ (シロバナオニシオガマを含む。)、シオガマギク (シロシオガマ及びウスベニシオガマを含む。)、トモエシオガマ、エゾシオガマ、キヨスミウツボ (キヨズミウツボ)、コシオガマ、ヒキヨモギ
タヌキモ	ムシトリスミレ、ヒメタヌキモ (ナガレヒメタヌキモ、フトヒメタヌキモ、チビヒメタヌキモ)、ヤチコタヌキモ、ムラサキミミカキグサ
キキョウ	フクシマシャジン (ホソバフクシマシャジン、ヒロハシャジン、ヒロハノニンジン)、ヒメシャジン (ホソバヒメシャジン、オクヤマシャジン)、ミヤマシャジン (ホソバノミヤマシャジン)、ソバナ (シロバナソバナを含む。)、ツリガネニンジン (シラゲシャジン及びハクサンシャジンを含む。)、イワギキョウ、ヤマホタルブクロ (ホンドホタルブクロ)、ホタルブクロ、バアソブ (ヒメツルニンジンを含む。)、サワギキョウ、タニギキョウ (ヒマラヤタニギキョウ)、キキョウ
ミツガシワ	ミツガシワ (ミズハンゲ)、イワイチョウ

<p>キク</p>	<p>ヤハズハハコ (ヤバネホウコ)、チョウジギク (クマギク)、ウサギギク (エゾウサギギクを含む。)(キングルマ)、ヒトツバヨモギ (ヤナギヨモギ)、ミヤマオトコヨモギ、アサギリソウ、ヒメシオン、タカネコンギク、ハコネギク (ミヤマコンギク)、オケラ、オオガンクビソウ (オオガンクビ)、イワインチン (インチンヨモギ)、オニアザミ (オニノアザミ)、モリアザミ (ゴボウアザミ、ヤブアザミ)、タチアザミ、ミョウコウアザミ、ジョウシュウオニアザミ、ニッコウアザミ (オキナアザミ)、オクヤマアザミ (オネトネアザミ、ヤツガタケアザミ)、ヤチアザミ、ムカシヨモギ (ヤナギヨモギ)、ミヤマアズマギク (ジョウシュウアズマギクを含む。)、アズマギク、ミヤマコウゾリナ、ミズギク、オゼミズギク (オゼノミズギク)、タカネニガナ (ホソバノタカネニガナ)、ハナニガナ (クモマニガナ、オオバナニガナ、シロバナニガナ及びシロバナハナニガナを含む。)、タカサゴソウ、ホソバヒナウスユキソウ、ウスユキソウ、ミネウスユキソウ (シロウマウスユキソウを含む。)、マルバダケブキ (マルバノチョウリョウソウ)、オタカラコウ (タイリクオタカラコウ)、オオニガナ、カニコウモリ、カンチコウゾリナ (タカネコウゾリナ)、ミヤコアザミ、トウミトウヒレン、シラネアザミ (アキノヤハズアザミ)、アサマヒゴタイ、ヒメヒゴタイ (コウライヒメヒゴタイ、ホソバヒメヒゴタイ、ヒレヒメヒゴタイ)、ヤハズトウヒレン (チャボヤハズトウヒレンを含む。)、クロトウヒレン、キクアザミ、キオン (ダキバキオンを含む。)(ヒゴオミナエシ)、ミヤマアキノキリンソウ (キリガミネアキノキリンソウを含む。)(コガネギク)、コウリンカ、サワオグルマ、タカネコウリンカ (クロバナコウリンカを含む。)</p>
<p>スイカズラ</p>	<p>ベニバナノツクバネウツギ (ベニバナツクバネウツギ、ベニコツクバネウツギ)、リンネソウ (メオトバナ、エゾアリドオシ)、ケヨノミ、イボタヒョウタンボク、コゴメヒョウタンボク (クモイヒョウタンボク)、ハナヒョウタンボク (マンセンハナヒョウタンボク)、コウグイスカグラ (ヒメヒョウタンボク)、オニヒョウタンボク、オミナエシ (オミナメシ、アワバナ)、ハクサンオミナエシ (コキンレイカ)、タカネマツムシソウ (ミヤママツムシソウ)、マツムシソウ、ツキヌキソウ、キバナウツギ</p>
<p>ウコギ</p>	<p>ミヤマウド</p>
<p>セリ</p>	<p>ミヤマトウキ (イワテトウキ、ナンブトウキ)、イワニンジン (ノダケモドキ)、シラネセンキュウ (スズカゼリ)、ホタルサイコ、ハクサンサイコ (トウゴクサイコ)、ミヤマゼンゴ (ミヤマゼンコ)、ミヤマセンキュウ (チョウカイゼリ)、タカネイブキボウフウ (タカネボウフウ)、ミヤマニンジン、ハクサンボウフウ (キレハノハクサンボウフウ及びホソバノハクサンボウフウを含む。)、カワラボウフウ (シラカワボウフウ、ヤマニンジン、チョウセンボウフウ)、オオカサモチ (オニカサモチ)、ヤマナシウマノミツバ (ヤマナシミツバ)、シラネニンジン (チシマニンジン)、イブキゼリモドキ (ニセイブキゼリ、コイブゼリ)、ミヤマウイキョウ (イワウイキョウ、ヤマウイキョウ)</p>

※ミズゴケ科の植物にあつては、属名。

※種名の後に記載した () は別名を表し、(…を含む。) は、亜種、変種、品種関係にある種や、分類上異名として扱う種等を示しており、当該指定植物に含まれていることを表す。

(イ) 普通地域

普通地域の区域は、次のとおりである。

(表 11：普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
新潟県	十日町市内 国有林中越森林管理署 15 林班の一部	341
	十日町市 大字小出の一部	〔 国 337 〕 〔 公 0 〕 〔 私 4 〕
	南魚沼郡湯沢町内 国有林中越森林管理署 17 林班から 19 林班まで、22 林班から 24 林班まで、31 林班、33 林班から 39 林班まで、66 林班から 75 林班まで、83 林班、84 林班、88 林班、89 林班、93 林班、94 林班及び 100 林班の全部並びに 16 林班、20 林班、21 林班、25 林班、26 林班、28 林班から 30 林班まで、32 林班、40 林班、62 林班、65 林班、76 林班から 82 林班まで、85 林班から 87 林班まで、90 林班から 92 林班まで、95 林班から 99 林班まで、101 林班、123 林班、124 林班、127 林班及び 130 林班の各一部	11,088
	南魚沼郡湯沢町 大字三俣及び大字三国の各一部	〔 国 9,046 〕 〔 公 470 〕 〔 私 1,572 〕
	中魚沼郡津南町内 国有林中越森林管理署 306 林班の一部	213 〔 国 213 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
長野県	下水内郡栄村内 国有林北信森林管理署 12 林班の全部並びに 8 林班から 11 林班まで及び 13 林班から 18 林班までの各一部	1,729 〔 国 1,729 〕 〔 公 0 〕 〔 私 0 〕
合 計		13,371

ウ 面積内訳

地域地区別土地所有別及び町村別面積は次のとおりとなる。

(表 12：地域地区別土地所別面積総括表)

(単位：面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域											普通地域 (陸域)			合計 (陸域)			海域公園地区		
		特別保護地区			第1種			第2種			第3種										
土地所有別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私		
新潟県	土地所有別面積	1,181	0	0	4,036	0	0	7,427	0	0	2,219	0	0	9,596	470	1,576	24,458	470	1,576		
	地種区分別面積				4,036			7,427			2,219										
	地域地区別面積	1,181												1,3681							
	地域別面積												14,862			11,642			26,504		
長野県	土地所有別面積	594	0	0	2,004	0	0	2,421	0	0	0	0	0	1,729	0	0	6,748	0	0		
	地種区分別面積				2,004			2,421			0										
	地域地区別面積	594												4,425							
	地域別面積												5,019			1,729			6,748		
合計	土地所有別面積	1,775	0	0	6,040	0	0	9,847	0	0	2,219	0	0	11,325	470	1,576	31,206	470	1,576		
	地種区分別面積 (比率)				6,040 (18.2)			9,847 (29.6)			2,219 (6.7)										
	地域別区別面積 (比率)	1,775 (5.3)												18,106 (54.5)							
	地域別面積 (比率)												19,881 (59.8)			13,371 (40.2)			33,252 (100.0)		

※合計が端数処理の関係で一致しない。

(表 13 : 地域地区別町村別面積総括表)

(単位 : 面積 ha)

地域区分		特 別 地 域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)	合計 (海域)	
市町村名		特保	第 1 種	第 2 種	第 3 種	小計				
新潟県	十日町市		0	1,252	570	0	1,822	341	2,163	0
	南魚沼市		0	0	210	0	210	0	210	0
	南魚沼郡	湯沢町	1,181	2,784	6,038	2,219	12,221	11,088	23,309	0
	中魚沼郡	津南町	0	0	608	0	608	213	821	0
小計		1,181	4,036	7,427	2,219	14,862	11,642	26,504	0	
長野県	下水内郡	栄村	594	2,004	2,421	0	5,019	1,729	6,748	0
小計		594	2,004	2,421	0	5,019	1,729	6,748	0	
合計		1,775	6,040	9,847	2,219	19,881	13,371	33,252	0	

※合計が端数処理の関係で一致しない。

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 利用施設計画

(ア) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 14：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
1	避難小屋	新潟県南魚沼市（清水峠）	谷川連峰縦走登山の避難小屋として整備する。	令和6年8月8日
2	宿舎	新潟県南魚沼郡湯沢町（蓬峠）	谷川連峰登山の宿舎として整備する。	昭和29年12月20日
3	園地	新潟県南魚沼郡湯沢町（かぐら）	かぐら周辺の園地として整備する。	令和6年8月8日
4	宿舎	新潟県南魚沼郡湯沢町（かぐら）	かぐら周辺の宿舎として整備する。	令和6年8月8日
5	野営場	新潟県南魚沼郡湯沢町（かぐら）	かぐら周辺の野営場として整備する。	令和6年8月8日
6	スキー場	新潟県南魚沼郡湯沢町（かぐら・みつまた）	かぐら・みつまたエリアにおけるスキー場として整備する。	昭和44年2月28日 令和6年8月8日「苗場山麓スキー場」からの名称変更
7	避難小屋	新潟県南魚沼郡湯沢町（茂倉岳）	谷川連峰登山の避難小屋として整備する。	昭和39年11月11日
8	宿舎	新潟県南魚沼郡湯沢町及び長野県下水内郡栄村（苗場山）	苗場山における宿舎として整備する。	昭和37年12月7日

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
9	野営場	新潟県南魚沼郡湯沢町及び長野県 下水内郡栄村（苗場山）	苗場山における野営場として整備する。	令和6年8月8日
10	避難小屋	新潟県南魚沼郡湯沢町（毛渡乗越）	谷川連峰縦走登山の避難小屋として整備する。	令和6年8月8日
11	宿舎	新潟県南魚沼郡湯沢町（赤湯）	苗場山登山及び赤湯温泉の宿舎として整備する。	昭和27年10月9日
12	避難小屋	長野県下水内郡栄村（渋沢）	切明～野反湖間歩道の避難小屋として整備する。	令和6年8月8日

(イ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 15 : 道路 (車道) 表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	三国峠線 (苗場)	起点-新潟県南魚沼郡湯沢町 (芝原峠・国立公園境界) 終点-新潟県南魚沼郡湯沢町 (三国)	八木沢、元橋、浅貝、三国峠	芝原峠から三国へ至る車道として整備する。 (備考) 三国峠線は芝原峠～永井の路線であり、三国で谷川地域と苗場地域に分かれている。	昭和 27 年 10 月 9 日

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 16 : 道路 (歩道) 表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	小松原線	起点－新潟県十日町市 (小松原・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (顕彰碑・歩道合流点)	日蔭山	小松原から日蔭山を經由し苗場山登山線 (八木沢口) 道路 (歩道) との歩道合流点に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
2	中部北陸自然歩道線	起点－新潟県南魚沼市 (清水峠西・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼市 (清水峠東・国立公園境界) 起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (貝掛温泉) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (火打峠・歩道合流点)	清水峠、二居峠	清水峠及び旧三国街道を通る路線として整備する。	平成 7 年 8 月 21 日
3	七ツ小屋山大源太山線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (大源太山・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (七ツ小屋山)		大源太山から七ツ小屋山に至る登山道として整備する。	令和 6 年 8 月 8 日
4	謙信ゆかりの道線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (土樽東・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (土樽東・歩道合流点)		土樽東から谷川朝日縦走線道路 (歩道) 合流点に至る登山道として整備する。	令和 6 年 8 月 8 日
5	蓬峠線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (蓬新道・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (蓬峠・歩道合流点)		土樽から蓬峠に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
6	苗場山登山線 (八木沢口)	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (祓川登山口) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (苗場山山頂)	神楽ヶ峰	祓川登山口から神楽ヶ峰を經由し苗場山山頂に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
7	茂倉岳線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (茂倉新道・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (茂倉岳山頂)		土樽から茂倉岳に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
8	上信越自然歩道線	起点－長野県下水内郡栄村 (小赤沢上流・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (赤湯温泉) 起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (火打峠・歩道合流点) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (平標山の家・歩道合流点) 起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (三国峠) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (三国峠西)	苗場山山頂	小赤沢上流・国立公園境界から苗場山山頂を經由し赤湯温泉に至る区間、火打峠から平標山の家に至る区間、三国峠から三国峠西に至る区間を上信越自然歩道線として整備する。	昭和 48 年 2 月 2 日
9	吾策新道線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (万太郎尾根・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (万太郎山)		万太郎尾根から万太郎山へ至る登山道として整備する。	令和 6 年 8 月 8 日
10	平標新道線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (土樽西・国立公園境界) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (平標山)		土樽西から平標山に至る登山道として整備する。	令和 6 年 8 月 8 日
11	苗場山登山線 (元橋口)	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (元橋) 終点－長野県下水内郡栄村 (龍ノ峰北・歩道合流点)	赤倉山	元橋から赤倉山を經由し龍ノ峰北に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
12	元橋平標線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (元橋) 終点－群馬県利根郡みなかみ町 (平標)		元橋から平標山に至る登山道として整備する。	昭和 27 年 10 月 9 日
13	佐武流山登山線	起点－長野県下水内郡栄村 (檜俣川降下点)	ワルサ峰、ナラズ山、西赤沢源頭	檜俣川降下点及び赤倉山から佐武流山山頂へ至る登山道として整備する。	令和 6 年 8 月 8 日

番 号	路 線 名	区 間	主要経過地	整 備 方 針	告示年月日
		起点－新潟県南魚沼郡湯沢町及び長野県下水内郡栄村(赤倉山・歩道分岐点) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町及び長野県下水内郡栄村(佐武流山山頂)			
14	三角山登山線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町(浅貝) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町(三角山)		浅貝から三角山に至る登山道として整備する。	令和6年8月8日
15	三坂峠線	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町(三国・ちょうちん岩) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町(三坂峠分岐)		ちょうちん岩から三坂峠に至る登山道として整備する。	令和6年8月8日
16	栃川苗場山線	起点－長野県下水内郡栄村(栃川沿・国立公園境界) 終点－長野県下水内郡栄村(坪場・歩道合流点)		栃川沿から坪場・歩道合流点に至る登山道として整備する。	昭和27年10月9日
17	切明野反湖線	起点－長野県下水内郡栄村(切明・国立公園境界) 終点－長野県下水内郡栄村(切明・中津川吊橋) 起点－長野県下水内郡栄村(渋沢ダム) 終点－長野県下水内郡栄村(地藏峠・歩道合流点)		切明から野反湖へ至る登山道として整備する。	令和6年8月8日

(ウ) 運輸施設

運輸施設を次のとおりとする。

(表 17 : 運輸施設表)

番 号	路 線 名	種 類	区 間	主要経過地	整 備 方 針	告示年月日
1	かぐら・み つまた線	索道運送施設	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (向山) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (祓川登山口)		向山から祓川登山口へ至る索道運送施設 (ゴンドラ) として整備する。	令和6年8月8日
2	かぐら線	索道運送施設	起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (祓川登山口) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (下ノ芝) 起点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (下ノ芝) 終点－新潟県南魚沼郡湯沢町 (中ノ芝)		祓川登山口から中ノ芝へ至る夏山リフトと して整備する。	令和6年8月8日

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

昭和 24 年 9 月 7 日	上信越高原国立公園の区域の指定（厚生省告示第 183 号）
昭和 31 年 7 月 10 日	妙高・戸隠地域編入に伴う拡張（厚生省告示第 177 号）
平成 27 年 3 月 27 日	妙高・戸隠地域の分離・独立に伴う縮小（環境省告示第 34 号）

イ 保護規制計画

昭和 27 年 10 月 28 日	特別地域の指定
昭和 38 年 10 月 10 日	特別地域の指定
昭和 44 年 1 月 10 日	特別保護地区の指定

ウ 利用計画（苗場地域に限る）

昭和 27 年 10 月 9 日	利用計画の決定（追加：園地 4、宿舎 5、車道 1、歩道 11）
昭和 29 年 12 月 20 日	利用計画の決定（追加：宿舎 1）
昭和 37 年 12 月 7 日	利用計画の決定（追加：宿舎 1）
昭和 38 年 11 月 29 日	利用計画の決定（追加：園地 1）
昭和 39 年 11 月 11 日	利用計画の決定（追加：避難小屋 1）
昭和 44 年 2 月 28 日	利用計画の決定（追加：スキー場 1）
昭和 48 年 2 月 2 日	利用計画の決定（追加：園地 1、歩道 1）
平成 7 年 8 月 21 日	利用計画の決定（追加：歩道 1）
令和 6 年 8 月 8 日	利用計画の決定（追加：園地 1、野営場 2、宿舎 1、避難小屋 3、歩道 8、運輸施設 2） （削除：園地 6、宿舎 3、歩道 4） （変更：スキー場 1、車道 1、歩道 8）